



2021年11月
No. 327号

治安維持法同盟島根県本部
〒693-0033
出雲市知井宮
町750-2
小玉信恵
☎・フックス
0853-23-3829

野党の議席後退も、共闘による成果を確信

治安維持法同盟島根県本部 佐々木 忠旦

政権交代を求め 野党共闘の成果

モリ・カケ・サクらの疑惑にフタをし、憲法に基づき国会開催請求を無視する自民・公明政権に、国民から強権・独善政治と批判の音が高まり、総選挙では「政権交代」が焦点となりました。日本共産党は「政権交代」を力いっぱい訴え、選挙をたたかいました。結果として自民・公明政権の継続を許しました。また、憲法改悪の片棒を担ぐ日本維新の会が第二党へ前進しました。

これにより、自民党が選挙期間中は触れずきた憲法改悪が、予断を許さない事態となります。マスコミでは、「野党共闘はダメだった」と印象操作を始めています。しかし、野党共闘で候補者を一本化し、野党側が一激戦を制した小選挙区は62に及びます。

また、惜敗率90%以上の接戦の末に敗れた統一候補は32人にとっており、野党共闘政策や政権合意をした野党共闘は、今回の総選挙が初めてのことでしたが、正確な情勢分析と歴史

的確の確信のもと、国民へ意義と成果を伝えられれば、改めて「新しい政権」への道が開かれます。

憲法改悪を阻止 国民的な運動発展を

選挙結果を受けて、自民党が憲法改悪へ積極的な日本維新の会と手を結ぶことが考えられます。しかし自民党の改憲草案は戦前の明治憲法を踏襲するもので、天皇の元首化・日本国憲法の平和条項の削除・自衛隊の軍事化など国民主権・民主主義・平和主義を否定する時代逆行したものです。

実際に、岸田政権の閣僚や自民党の現執行部には、軍事費(防衛費)倍増・敵基地先制攻撃など、過去に軍事国家を再構築する発言をしたものが少なからずあります。

さらには、気候変動対策に後向き・原発は再稼働核兵器禁止条約に不参加・ジェンダー平等に背を向けるといった主張が繰り返されています。

市民団体と共闘する野党は平和と国民の暮らしを守るため、岸田政権が憲法改悪と危険な政策へ舵を切らせまいよう、その企てを国民に広く知らせる活動を、強化する必要があります。



出雲市 大谷和氏提供
吾妻山のフジプロセンノウ

会員が増え 元気になりました

国盟同盟・大田支部 影次郎

2020年度末の大田支部の会員は、15名でした。昨年は支部活動として「伊藤千代子の映画化に向けた学習会」に取り組み、30名の参加がありました。詳細は、県本部発行の「不屈21号」に大田支部長と福田佳代子さんの記事で報告されていますが、この取り組みの中で30名の会員を迎えることができました。

藤田慶彦さんのお話と著書「時代の証言者・伊藤千代子」があつたからこそ嬉しい成果であつたと思います。

さて治安維持法犠牲者が、年々高齢化し減つていくなかで、同盟の運動の意義や重要性を理解して入会される方は、少ないのが現実です。私達支部の役員もそれではいけないと思いつつ、毎年の「治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願」署名の活動を続けています。

今年94歳の私の義母が、「終戦時は18歳だった。戦争だけは絶対にはけない。一度とあんな時代を作つてはいけない。」と毎年署名をしてくれます。私達は、親の世代のこの気持ちをきまじく子や孫に伝える責任があります。

何かと出費多端の折、平和活動への



出雲市 奥井美治氏提供 毛毛の花

会費の納入も身に染みて感じるのは私一人ではないと思います。いろいろな出費を天秤にかけながらも、自分の心に正直に生きたいものです。会員が増えるということは、何物にも勝る力です。今回3人の方から新しいパワーを吹き込まれた大田支部。元気に頑張ります。(1011、10、8)

10月6日 島根幹事会の報告

署名の様子

@益田ーこれから。@浜田ー市議選の最中でありつかめず。@江津ー今年も300目標(今20筆程度)。@大田ーこれから。@出雲ー40名の会員に二枚ずつ配り、昨日一名から成果があつた10筆、こうした活動は実は出雲では初めて。@松江ー役員会で目標設定できず(選挙が終わつてから...の論調が支配的)、役員が20枚、30枚、50枚と取り分けた。とりあえず10筆 @奥出雲町ー先日支部創設に向けて新たに2名会員拡大し5名となった。署名は、過去10年は50筆だが今年は150筆分の署名用紙を準備。

大田支部活動

「種まく人々」の上映会をしたい。幹事会の提案で(千代子の実行委員会) を作ることを検討してもらおう。

「治安維持法犠牲者の各員の資料作り」の島根での構想について...

30年まえに県同盟の設立総会での吉岡古典氏(当時、共産

党の参院議員で赤旗編集長)の100分の記念講演を逐次不屈県版に掲載...という話を一歩進めて、月例の県幹事会で2頁ぐらいつつ、全員で調査項目を振り分け、4〜5頁ずつ逐次アーカイブス形式でネットに掲載していく形式に取り組む構想を討議した。(2〜4年かかるかと思われ)

・奥出雲支部の活動

奥出雲支部の正式発足の諸準備を幹事会としても援助していく。

・佐々木会長等の活動

佐々木会長が8月に最寄りのお寺の夏休み行事で(戦争)の話を子供達にされたことが、仏教会の新聞に掲載されて...とのことで、昨年の益田の取り組みも含め、県内のお寺への情報提供の道を検討していく。衆院選の亀井候補(立憲)への「為書」は一括して佐々木会長が対応する。県同盟の総会を11月27日に再度開催予定。

次回の県幹事会...11月20日(土)。

定期大会の案内

日時

11月23日(火) 午後1時半〜午後3時

場所 中部地区委員会3階

駐車場が少ないので 乗り合わせたい方参加ください

島根県本部 幹事会報告

2021年11月6日 10名参加

I 挨拶

①先の浜田市議選では「自身は勇退し、新しい市議候補を立てて戦ったが 出遅れて惨敗となった。実力を付けて臨むことが重要」と 西村健氏より挨拶があつた。

②佐々木会長より 先の衆議院選挙に関連して 島根1区では、野党統一候補として亀井亜紀子氏(立憲民主党)が立候補し、10/16松江事務所にて国盟同盟として 中央と県本部会長連名の「ため書き」を持参した。島根1区2区ともに残念な結果となつたが、来年の参議院選挙での雪辱を果たしたい。尚、江津支部では 集団討議による「こうつ民報」を発行し 対外的な総括を行っている。

II 各支部・各目の近況報告

大田支部

・来年大田は市議会と参議院と二つの選挙を抱えている。選挙を戦うのに高齢化・病氣・後継者対策などの問題もあり選対として苦慮される。

・野党共闘が島根県ではどうだっただろうかとの思いあり。地域の要求 仲間を増やすことなど課題である。

益田支部

・自身として前回より活動が下回った。電話かけがストップし 支持票は県外が主となってしまった。次回のために指導部と話し合いをもちたい。

出雲支部

・今回の選挙では、支部で後援会に訴えることとなり、選対ニュースを発行して選挙はがきや電話かけを頑張った。決起集会でも支部選対として発言した。

・支部ではがき970枚、ビラは3000枚新聞折り込みしたが、手配りする人もいた。ポスター張りは自分が受け持った。自分も入院し家族が病気になったりして不屈県版は2か月休刊となった。そんな中でハガキを80枚書いたり親族にお願いしたり支持を広げた。

松江支部

・電話かけは20数人止まりだったが、びら配布は7000〜8000担当した。

III 協議事項

・大会議案の準備・コロナへの対応準備等は前回申し合わせに準ずる。

・コロナの時期であり、組織も全体20名を目標にしたい。

② 不屈発行について

・11月12日(金) 夜 編集会議

・13日(土) 9:30〜地区にて発送作業

・休刊のお詫びを載せる。

・各自 堀西さんに記事を送ること。

③ 中国ブロック交流会議について

・広島県本部より各県2〜3名の招集要請あり。

12月5日(日) 13:00〜17:00

広島市内ロードビル(国労会館)

後半は藤田廣登氏の「伊藤千代子の生涯」講演会
島根から3名送る。佐々木会長・大田支部・浜田支部に要請した。

④ 30年史の取り組みについて

・吉岡吉典「島根の先駆者たち」を3年前に 冊復刻版を出してから 進んでいない。過去西部旧那賀郡今市町で1000人規模でメーデーが開催されたこともあった。資料が散逸している状況もあるので、体制を取って取り組む必要がある。引き続き要検討。



奥出雲 田食道弘氏提供
金言寺の大イチョウ

休刊へのお詫び

「不屈」県版9月・10月号については、事務局の諸般の事情により休刊させていただきました。深くお詫び申し上げます。

尚、引き続き、同盟書読者の皆様からの貴重な意見、地域の様